

東京地方壮年連合通信 vol.79

TOKYO SOHNEN RENGHO TSUSHIN

2018年9月15日

「名もなき娘を記念して」士師記 11 章 29～40 節

栗ヶ沢バプテスト教会牧師 村上千代（むらかみ ちよ）

壮年会連合の皆さま、こんにちは。伝道者養成のための祈りと、日頃のお働きを感謝申し上げます。

私は、1991 年度から 4 年間、神学校献金で西南学院大学神学部での学びを支えていただきました。ありがとうございました。神学校卒業後は、日本バプテスト女性連合の働きに仕え、この 4 月から栗ヶ沢バプテスト教会の牧師として働かせていただいております。

この度、貴連合ニュースレターに聖書のメッセージをとのご依頼を受け、特にテーマはないとのことでしたので、掲題の聖書箇所を選ばせていただきました。

士師エフタは、アンモン人との戦いにおいて、神の助けに確信がもてないばかりか、かつて自分を追放した人々の間での自分の将来についても不安がありました。そこで彼は、神が勝利をもたらしてくれれば、家の戸口で自分を迎えた者を、焼き尽くす献げものとするという誓いを立てます。創世記で、神はアブラハムにイサクをささげるよう命じましたが、エフタは、要求されてもいないのに自分から誓いを立てたのです。神に対するエフタの不信仰、不誠実が、彼の一人娘の命を犠牲にするむごい結果を招きました。アブラハムとイサクの物語では、最後の瞬間に、「その子に手をくだすな。何もしてはならない」（創世記 22：12a）と、神の介入によってイサクは助かるのですが、エフタの娘に神は沈黙したままです。「なぜですか」とイエスの十字架の場面に思いが重なります。彼女は、言葉を発することもなく息絶えたのです。私たちはこの悲劇に胸がとても苦しくなります。そしてこの後、自分の娘を犠牲にした父親のエフタは、イスラエルを導いた英雄として歴史にその名を残され、高められています（サムエル記上 12:11）。しかし、悲劇の娘は名前すら分からないまま。彼女は、神に忘れ去られた存在なのではないでしょうか。

「来る年も来る年も、年に 4 日間、イスラエルの娘たちは、ギレアドの人エフタの娘の死を悼んで家を出るのである」（40 節）。神の沈黙と娘の死が、この物語の最後ではありませんでした。神は、誰の存在をも忘れ去る方

はない。エフタの娘と最後の時を過ごした娘たちによって、その死が埋没させられることなく、イスラエルの伝統となり、記憶され続けていることを聖書は証ししています。エフタの娘の命は、むごい悲劇の死から生へと移されたのです。

「第 53 回全国壮年大会 in 仙台 2018 に参加して」

全国壮年会教会員の皆様へ

全国壮年会連合神学校献金推進委員

北大阪キリスト教会 酒井俊一（さかい しゅんいち）

北大阪キリスト教会では、毎年6月の神学校週間だけでなく一年間を通じて献金を捧げていくことを大切に考え推進していますが、そのことにより教会の中で神学校の働きについて理解が定着してきました。これからも神学校献金のためにいろいろな取り組みを行っていきたいと思います。

関西地方連合壮年会も2001年よりいろいろな取り組みを行っていますが、17年間の取り組みの中で最初は、特製しおりの販売、御言葉入りの額など全国壮年大会でも販売しましたが、7年前よりシュトーレンの販売に力を入れております。

シュトーレンはドイツを代表する菓子パンであり、欧州菓子パンの5本の指に入るといわれています。ドイツ以外ではオーストリア、スイス、チェコ、ポーランド、ロシア、アメリカ等で作られており、最近では、日本でも特に、クリスマスに作られています。これまで買って食べていただいた方々からは、とっても美味しいと大変好評です。全国壮年会連合ニュースでも時々販売のアピールをさせていただいております。

神学校週間、全国壮年大会、関西地方教会連合信徒大会（クリスマス）、関西地方教会連合壮年会総会、クリスマスには全国に注文書の発送（約30教会より注文250～300本）。また、昨年よりイチゴジャム、ミックスベリージャムの販売も始めました。

2005年度以来昨年まで神学校献金目標額として3000万円を掲げて献金を推進してきましたが、なかなか目標達成には至っていません。

現在そして将来的にも毎年25名の献身者を支えていくためには、3500万円が必要です。目標額が達成されるように全国の壮年が共に祈るとともに、いろいろなアイデアで神学生支援の働きがさらに推進されていくことを願っております。

最終目標は、献金目標額120万円、製造本数3000本です。

東京地方壮年連合では、バプテスト主義とは何かと題し、長年に渡り講演会を続けてきたので、正直いって講演を聞くまでは期待していなかった。東北地方におけるバプテストの歴史を中心に語られた。特に八戸教会の歴史が精しく語られた。東北地方に限られて語られたのが良かった。

震災を偲んだ追悼と黙想のときは、プログラムの中で一番感銘を受けた東北ならではのプログラムであった。

大会の議事進行は代表者会議で審議され、その際の質疑応答が書面で印刷されていたので各人がよく理解され、大会では承認という形をとったルール上は問題もあるかと思われるが、現状ではこのような形態でも十分と思われる。

お盆の直後で混雑が心配されたが特に問題はなかった。天候も猛暑のあとで一時的な涼しさがやってきた二日間であった。

公 示 東京地方壮年連合役員選挙

この度、2018年度総会において（2018年11月23日（金・祝日）、場所・関東プレインズ教会にて）、選挙を行います。役員会は、選挙の前提である立候補を重んじて、東京地方壮年連合の久場俊男兄（恵泉）に選挙管理委員を委嘱しました。

以下により、立候補を受付けます。

1. 立候補対象 : 連合規約第7条による。
任期は2019年度から2年
2. 立候補締切 : 2018年11月11日必着（郵送、メール何れでも可）
3. 立候補届出先
郵 送 : 〒194-0003 町田市小川 1222-1-1301
メールアドレス : kubatosio@gmail.com

久場俊男（東京壮年連合 選挙管理委員）
4. 立候補届出様式 : 特にありません。 以 上

— 壮年の皆さんからの立候補をお待ちしています —

上記の公示を元にぜひ立候補してください。東京地方壮年連合は、会員相互の啓発を計り、各教会を知り、交流親睦を深めるとともに伝道活動を

積極的に協力し合うことを目的としています。私たちは、役員間で各自の意見を出し合って、良いものを作るために努力してきました。喜びを共に分かち合いたいと思います。

【今後の行事予定】

2018年09月15日(土) 定例役員会 10:00～ 会場：大久保教会
11月23日(金) 定期総会 11:00～ 会場：関東プレインズ教会
2019年01月(土) 定例役員会 10:00～ 会場：大久保教会
02月16日(土) 第23回 研修会 13:30～ 会場：新小岩教会
(予定)
東京地方壮年連合通信の今後の発行予定は18年12月、19年03月

◇ 2018年度東京地方壮年連合定期総会のご案内◇

日時：2018年11月23日(金・祝) 11:00～12:30

会場：関東プレインズ教会

議案：①2017年度活動報告、決算報告

②2018年度活動説明、会計報告(決算見込み)

③2019年度活動計画、予算

※近々、総会案内を各教会に郵送します。多くの参加を期待しています。

◇ 2018年度神学校献金(目標500万円)のお願い◇

日頃の神学生支援に対するご理解に感謝申し上げます。今年度も昨年度に続き、500万円の目標に向かっている皆様からの祈りとサポートをお願いいたします。

恒例の研修会開催のお知らせ (予定)

テーマ：『未定』

講師：大西晴樹(おおにし はるき) 明治学院大学経済学部教授

日時：2019年2月16日(土) 13:30～16:00

場所：新小岩バプテスト教会

発行人：東京地方壮年連合会長 竹下達也

編集人：佐藤洋二

連絡先：千葉県柏市東中新宿4-7-5-104 〒277-0061

tel. 090-9834-9464 e-mail. qp4316_1107@yahoo.co.jp